

丸善CHIホールディングス株式会社

経営計画

2016年10月27日



MARUZEN CHI
Holdings

経営理念・環境認識

経営理念

価値観：知は社会の礎である

グループ
ビジョン

知の生成と流通に革新をもたらす企業集団となる

環境認識

- 人口減少に伴い、国内市場は緩やかに縮小
- 大学・自治体等の書籍購買予算も横ばいまたは微減傾向
- 一方、高齢化社会や地方創生による新たな社会ニーズが顕在化。
- 書籍・雑誌販売はピーク時（1996年）の6割弱まで縮小
- 同じく書店数は1996年の2万6千店から、約半数に減少
- ネット小売、電子書籍が急速に拡大。消費者・読者の購買スタイルの変化

中期戦略方針

経営理念

価値観：知は社会の礎である

大学向け事業の
構造改革

書店収益力の
改善

図書館を核にした
地域活性化事業

セグメント別戦略テーマ

文教市場 販売事業

事業課題

- 大学の学生数減少への対応
- 少子高齢化、税収減により自治体・大学予算は縮小傾向
- 高等教育、地域社会で、“学び”の場の活性化が求められる

取り組み

- 広い世代に向けた「学び」の環境最適化を支援するソフトや場づくりビジネスへの参画
- 地域活性化、コスト改革などの自治体課題の解決支援
- 図書館・大学における業務プロセス改善支援

セグメント別戦略テーマ

店舗・ネット 販売事業

事業課題

- 書籍販売市場の縮小
- ネット書店にない大型書店ならではの魅力の創出・強化

取り組み

- hontoサイトとの連携を中心にしたハイブリッド戦略の推進
- プロモーション・マーケティングによる来店頻度UP策の実行
- 継続的なスクラップ&ビルディング
- FC型展開の拡大によるシェア向上

セグメント別戦略テーマ

図書館 サポート事業

事業課題

- 社会が求める図書館へのニーズの多様化、教育への貢献
- より高い専門性や、業務品質を求める顧客ニーズ

取り組み

- 専門性の高い人材の確保や、研修育成による業務品質の向上
- 業務分析と連携した提案型業務受託や、より専門性の高い分野での人材派遣への拡大

セグメント別戦略テーマ

出 版
事 業

事業課題

- 人口減少による、国内市場縮小への対応
- 初等教育～専門家まで、教科書や教材、研究資料の電子化やメディア融合が進む

取り組み

- コンテンツ開発のための編集者の確保・育成
- 紙・電子・映像が融合した新たな教材やコンテンツの提案
- 国内の優良コンテンツの海外向け発信

セグメント別戦略テーマ

その他 事業

事業課題

- 既存事業は、一層の付加価値の向上が求められている。
- 顧客や社会のニーズが、「モノ」から「コト」「ヒト」へのニーズの変化している

取り組み

- 付加価値を高め、顧客満足度を高めるための、既存事業周辺分野での新規事業拡大・M&A
- コンサルティング事業、様々な世代や場での学びの支援、教育研修人材ネットワーク構築などの事業への取り組み

収益計画

- 平成29年1月期においては、引き続き書籍・雑誌販売市場の継続的な縮小や大学図書館における紙による書籍の購買の減少など、依然として市場環境は厳しく推移すると予想されます。
- 当社グループでは、成長戦略である書店収益力の改善、大学向け事業の構造改革、図書館を核にした地域活性化事業の推進に取り組んでまいります。
- 中期取り組み施策の実行により、新しい社会と顧客の新しいニーズに応えるサービス開発を推進します。

2017年1月期 業績予想	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
<u>通期業績予想</u>	<u>176,500</u>	<u>2,410</u>	<u>2,260</u>	<u>1,170</u>
前期比	+1,363 0.8%増	+206 9.3%増	+34 1.5%増	+145 14.1%増
2016年1月期実績	175,137	2,204	2,226	1,025

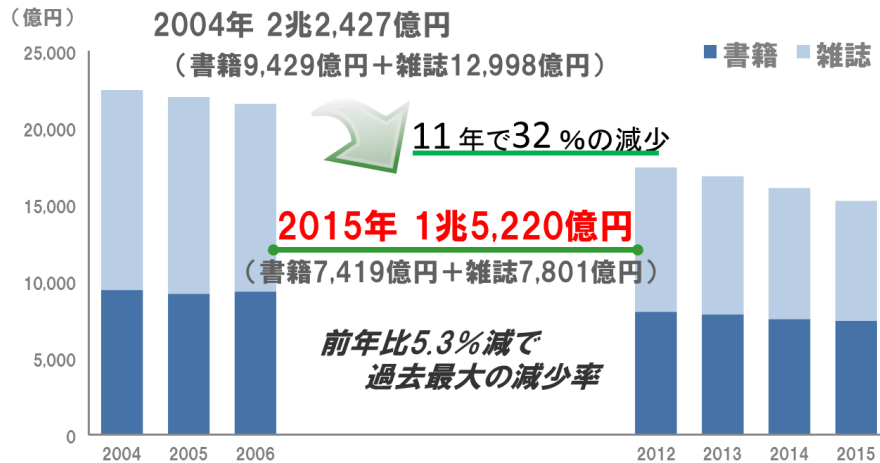
配当および資本政策

- 当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、今後の事業拡大に備えた内部留保を 図りながら、業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。
- 当社を取り巻く市場環境は、出版物販売額の長期に亘る減少、書籍取次による書店系列化、電子書籍の抬頭など大きな変革の渦中にあります。
- これらへの対応として、当社では、書店の継続的なスクラップ&ビルディング、顧客サービス向上や業務効率化へのシステム開発、また新規事業のM&Aなど、継続的な投資が必要な状況です。
- 本経営計画を中心に施策を推進することで、安定的な収益体質を構築し、長期に亘って株主に対して安定的に利益還元できる収益体質の構築に努めます。

参考：出版物販売市場動向

● 書籍・雑誌販売額は11年連続前年割れ

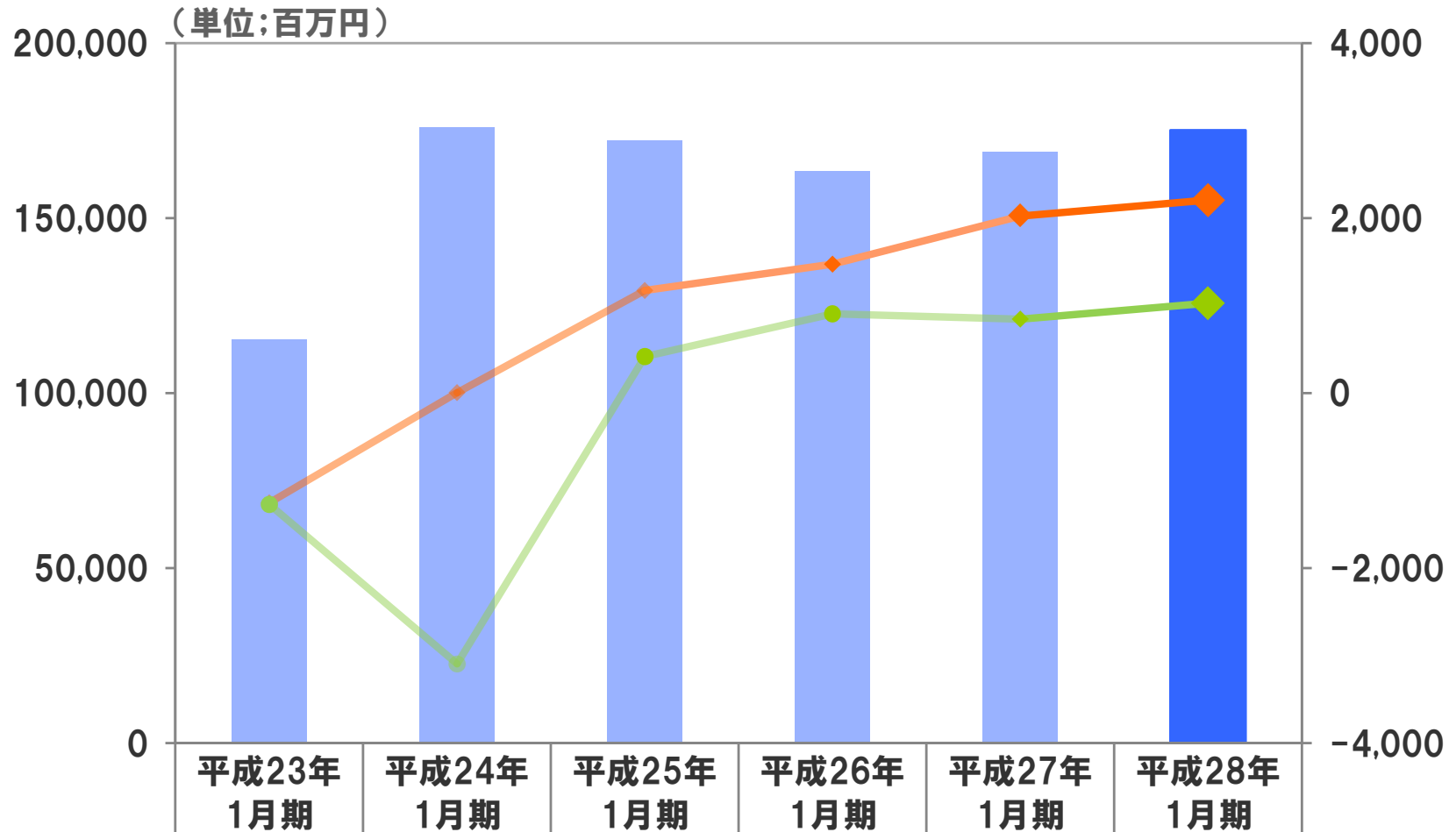
出版物(書籍+雑誌)販売額の推移



- 書店数は11年で▲25.7%
- 書籍雑誌取次業者の倒産・廃業



参考：全社業績推移

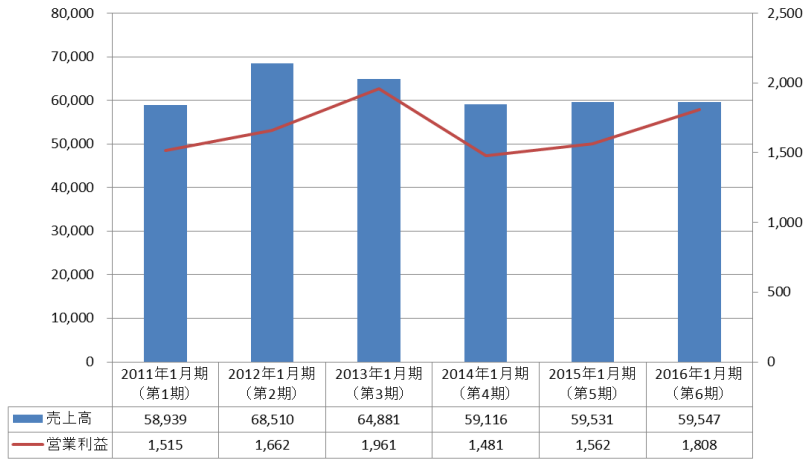


■ 売上高	115,270	176,013	172,289	163,337	168,812	175,137
◆ 営業利益	-1,255	5	1,172	1,473	2,024	2,204
◆ 当期純利益	-1,273	-3,096	416	904	845	1,025

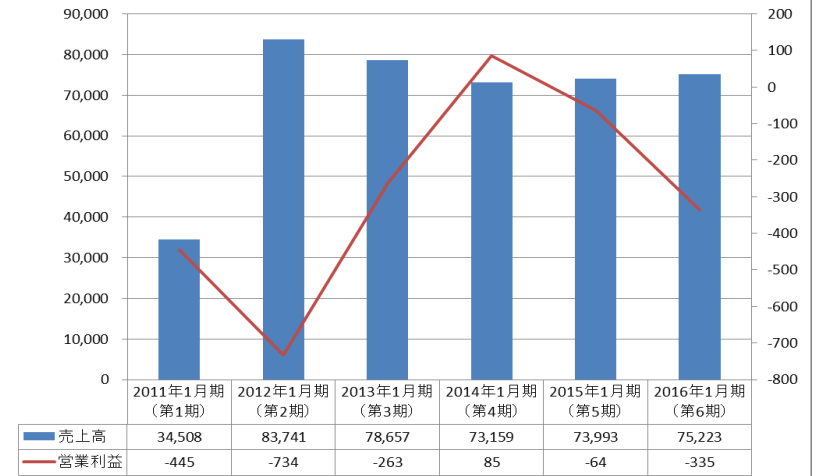
参考:セグメント業績推移

文教市場販売事業

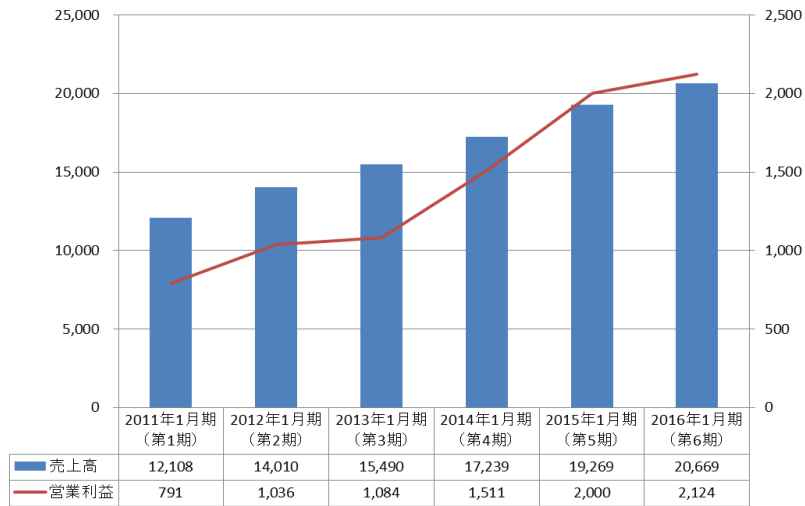
(百万円)



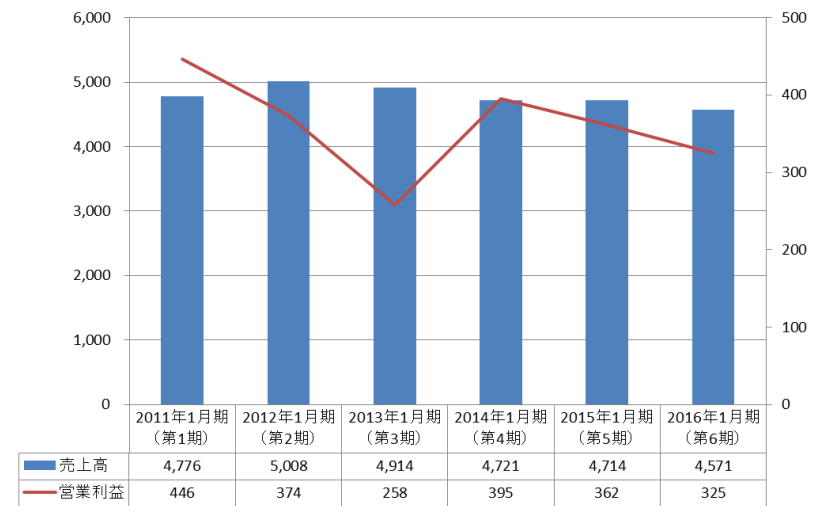
店舗・ネット販売事業



図書館サポート事業



出版事業



参考:セグメント業績推移

その他事業

